

## 第4回箕面駅周辺整備方針検討ワークショップ意見概要

2つのグループに分かれ、箕面駅周辺整備の全体コンセプトのたたき台について、意見を出し合った。その議論をふまえ、各施設の整備方針、整備イメージについて、意見を述べた。

### 箕面駅周辺の全体コンセプトについて

桃・黄グループ

たたき台

「人が集い、誰もが楽しめ、自然が実感できる」

「人と自然にやさしい、にぎわいのあるまち - 箕面駅周辺地区」

- ・大事なことは“箕面らしさ”を出すこと。
- ・「人が集い」と「にぎわいがある」は、同じ意味ではないのか。
- ・「人と自然にやさしい」とあるが、「人が集う」ところは自然にやさしいところなのか？

#### 【空間イメージ】

箕面駅周辺地区は、地域住民にとっても、来訪者にとっても利用しやすいものとなっています。

#### 「人が集う」

- ・説明に、利用しやすいとあるが、何のために利用するのか。仕掛けがない。例えば文化、学習、情報、交流施設を設けてほしい。
- ・「来訪者にとって利用しやすいもの」と「人が集う」の関係が不自然。「利用しやすい」も追加。
- ・「利用しやすい=利便性」だけでなく、「使っていて気持ちがいい=心地よい」であってほしい。

箕面駅周辺地区は、山並みや自然を感じることができ、箕面のよさが実感できるように配慮され、観光地としても、また、安らぎのある生活の場としても、魅力が増しています。 「**自然が実感できる。**」

- ・キーワード「箕面らしさの一つ」 「山並み・緑化」
- ・解説の中に「箕面の顔」という言葉がほしい。駅周辺は「箕面の顔」

箕面駅周辺は、地域の様々な施設が、人と自然にやさしい一体的な空間として繋がり、にぎわいが生まれます。 「**人と自然にやさしい」「にぎわい**」

- ・「人と自然にやさしい」というコンセプトは良好だが、内容説明が不足。言葉が宙に浮いている。
- ・「人と自然にやさしい」と「にぎわい」は反する。
- ・「人と自然にやさしい」 「人と自然が調和した」にするのはどうか。
- ・「にぎわいのあるまち」 「もてなしのまち」にするのはどうか。

## 緑・青グループ

### たたき台

「人が集い、誰もが楽しめ、自然が実感できる」

「人と自然にやさしい、にぎわいのあるまち - 箕面駅周辺地区」

・“歴史” “安心・安全”

・楽しく集い、語り合える。

・誰でもが集い、自然とにぎわいのあふれるまち。

・これだけ市民が各種意見するのだから、未来の箕面が楽しみ。長生きするぞ！ “長生きするまち”

### 【空間イメージ】

箕面駅周辺地区は、地域住民にとっても、来訪者にとっても利用しやすいものとなっています。

#### 「人が集う」

・「人が集う」 = “ふれあい”

・人間はうるさい部分もあるが、人同士、生で付き合うから発達、活気が生まれる（商店街など）

・快適なアクセス性

箕面駅周辺地区は、山並みや街並みと調和し、現在の多様なライフスタイルに合ったものとなり、いつでも、誰でも、安心して気軽に利用できるものとなっています。 「誰もが」

・子ども、老人、男、女、身体障害者、その他生活環境の異なる人の立場を考えてこそ、成長できる。

箕面駅周辺地区は、明るく、開放的な空間が演出され、また、案内や広告などもデザインされ、歩いていて楽しい空間となっています。 「楽しめる」

・街のデザインと箕面の自然を調和させる。

・自然が実感できるためには、建物などのデザイン、色、高さに制限が必要。緑が見えない。

・緑を見せる。「箕面の山」

・四季彩りのまち

・やまざくら、いろはもみじ。本当の自然の木で表現。

箕面駅周辺地区は、山並みや自然を感じることができ、箕面のよさが実感できるように配慮され、観光地としても、また、安らぎのある生活の場としても、魅力が増しています。 「自然が実感できる。」

・「自然が実感できる。」 「自然と一つになれる」にするのはどうか。

・“箕面らしさ”を具体的に表現しては。

例：山と水。もみじ。四季が実感できる。自然に抱かれる 安心感、幸福感。

・窓を開ければ風と緑

・自然に満ちたまち、四季を感じるまち

箕面駅周辺は、地域の様々な施設が、人と自然にやさしい一体的な空間として繋がり、にぎわいが生まれます。「人と自然にやさしい」「にぎわい」

- ・“いやし”と“にぎわい”
- ・“もてなし”玄関口としてのイメージ

## 各施設の整備方針・整備イメージについて

### 桃・黄グループ

#### 【駅前広場の整備方針】

誰もが利用しやすい空間

- ・駅前広場全体のレイアウトを考える。
- ・全体として、バリアフリーにする。
- ・駅の南口から、サンプラザへつなく。
- ・駅前広場に、バス、タクシー、一般車両が自由に通行するのは、安全面で不安。一般送迎用スペースを設けるのは、駅前広場の外の方が良いと思う。障害者用の乗降場は必要。
- ・一般送迎用の乗降場を設ける必要があるのか。
- ・バリアフリー対応、舗装、街灯の設置は、どこまでやる必要があるのか。やるとしたら全部なのか。

玄関口としてのもてなし空間

- ・「花壇など市民の手で育てる」とあるが、これは駄目である。統一感がない。ほったらかしになる。
- ・花壇を育てている市民の活動を応援する。
- ・育てやすい環境をつくる。
- ・ニセモノの自然は不要。
- ・箕面らしさの創出から、自然との連続性ということで、イロハモミジはシンボルとしてあればよい。管理はしっかりとする。
- ・ベンチなどは「木製」に限らない。自然を感じる、自然に憩える素材にする。

開放的で、回遊性を高める空間

- ・「商店街の入口が見通せる」とあるが、サンプラザ2号館は日曜日、シャッターが閉まる。景観上も問題。
- ・「憩える場」として、もっと機能を重点に考えるべきである。
- ・駅前広場は、まちの中心（シンボル）。空間美、景観美的要素も考える。

#### 【箕面駅前第一駐車場の整備方針】

- ・駐車場の整備は、大事である。“誰もが利用しやすい” + “情報発信”の場所に。
- ・料金体系の見直しも必要である。安くする。
- ・交流の場としての、カフェテラスの設置。
- ・観光バスへの対応。
- ・駐車場東側にミニショップを設置。シンボルロードの活性化を図る。

### 【箕面駅前自転車駐車場（駐輪場）の整備方針】

- ・駐輪場の整備は、大事である。障害者、子ども、お年寄り、誰もが使いやすくする。
- ・原則、建て替える。

### 【アーケード・街路の整備方針】

- ・本通りとその他商店街との回遊性を考える。
- ・「舗装（タイル）」とあるが、その他の素材を検討する。
- ・ベンチは「木製」に限らない。自然が感じられる素材にする。
- ・「連続的なアーケードを設ける」場合、山並み・緑などの景観を大切にすることはできるか。
- ・連続的なシェルター（アーケード）は必要ない。
- ・「スペースを設ける」と街路樹があることは、両立するか。

### 緑・青グループ

#### 【駅前広場の整備方針】

##### 誰もが利用しやすい空間

- ・噴水部の利用、見通し、開放感を考える。
- ・早急に噴水の取り壊しを行い、全面整備を実行し、お祭り広場をつくる。
- ・噴水を撤去。商店街が見えるように。
- ・行政と民間が調整。
- ・憩える場に。子どもが排ガスを感じず遊べる場にする。
- ・駅前広場に駐輪場（コイン式）がほしい。

##### 玄関口としてのもてなし空間

- ・駅前広場から山が見渡せ、くつろげるスペースがあればいい。ベンチは多くする。
- ・花壇の統一。
- ・案内サインの向上。案内サインが全体的に不足。
- ・観光案内所の間口を広く取り、滝道だけでなく、商店などのマップも置く。
- ・駅前広場はできるだけ物が無い方が、美しい。

##### 開放的で、回遊性を高める空間

- ・サンプラザ北側のアーケードはなくても傘をさせばよいが、商店街は買い物をするときに必要。
- ・改札を出て全体を見渡せる広場に。広場の中心に一つだけシンボルを置く。
- ・改札口を東側に広くアール状に開けて、開放感を感じられるようにする。
- ・動線を考慮した施設の配置。
- ・交番前のモニュメントの存在意義はあるのか。ベンチを置き、雨宿りの可能な広場として整備してはどうか。

#### 【箕面駅前第一駐車場の整備方針】

##### 誰もが利用しやすい空間

- ・市営駐車場のチケットを共通にし、利用しやすいようにする。

- ・行楽の時期にパンクしている。利用者へのサービスを向上させる。
- ・数店舗のレシートを集め、2、3千円以上で2時間無料とする。
- ・営業時間を延長する（終電まで）。
- ・ポイントカード、ICカードなどの利用。

地域と調和した空間

- ・回遊性のある、憩いの場を有する外周空間とする。
- ・駐車場周辺にミニショップをつくる（毎日でなくてよい）。
- ・原色でない、中間色の色にする。
- ・駐車場の外壁を掃除。

安心して利用できる空間

- ・車のマナー向上（安全性）。
- ・第一駐車場入口にガードマンを配置する。歩行者が危険。
- ・駐車場の入口と銀行の入口が向き合っているため、駐車場の入口を移動する。

#### 【駅前自転車駐車場（駐輪場）の整備方針】

誰もが利用しやすい空間

- ・各種サービスの向上。イベント情報の発信、ポイント制の導入、修理屋の設置など。
- ・自動改札にするか、コイン式駐輪場にする。
- ・営業時間を延長する（終電まで）。

地域と調和した空間

- ・コミュニティとの調和（人と人のふれあい）。

#### 【アーケード・街路の整備方針】

誰もが利用しやすい空間

- ・サンプラザの周り、本通りのタイルに段差ができて危ない。段差など、安全性を考える。
- ・箕面全体のカラーを決め、目的に合わせて補足する。箕面全体のカラーの統一・調和。

住民、来訪者へのもてなしの空間

- ・水路設置はいいが、誰が管理するのか。
- ・ゾーン別に、歴史や時代を表現する。

開放的で回遊性のある空間

- ・メイン道は電柱・電線をなくす。電柱・電線のないまちに。
- ・駅前から商店街への入口の案内が不足。案内板が必要。
- ・アーケードのクリア化。
- ・近代的な開放感のあるアーケードにリニューアルする。

にぎわいのある、楽しめる空間

- ・民間施設と公共施設とを調整。
- ・連続性が必要。

